

会 議 録

会議名	平成22年度 第1回 丸亀市行政評価委員会
開催日時	平成22年7月1日(木) 午前10:00~午前11:50
開催場所	丸亀市役所 本館2階第3会議室
出席者	<p>(出席委員)</p> <p style="text-align: center;">石川 千晶 橘 節哉 田中 豊</p> <p style="text-align: center;">日野 明世 溝渕 由美子 山崎 純一</p> <p>(説明のために出席した者)</p> <p style="text-align: center;">企画財政部長 大林 諭</p> <p style="text-align: center;">企画課長 矢野 律</p> <p style="text-align: center;">企画課副課長 小山 隆史 企画課主任 真鍋 裕章</p>
議 題	<p>1. 委員長及び副委員長の選任</p> <p>2. 丸亀市行政評価委員会の運営について</p> <p>3. 平成22年度の外部評価について</p> <p>4. 評価対象について</p> <p>5. その他</p>
傍聴者	なし
発言者	議事の概要及び発言の要旨
議事の進行及び発言の要旨	<p style="text-align: center;">＜丸亀市行政評価委員会委員委嘱＞</p> <p style="text-align: center;">＜市長挨拶＞</p> <p>市長 おはようございます。本日は第1回の丸亀市行政評価委員会ということで、さきほど委員の委嘱をさせていただきました。委員の皆様には、日頃から行政全般に渡りお世話になり、本当にありがとうございます。この行政評価委員会につきましても、毎年、様々な考えや意見をいただきながら進めてまいりました。おかげさまで市として行財政改革を進めることができ、財政的にも先が見えてきたところでしたが、昨年来、政権交代等の影響により、国政の先行きが不透明になり、市としても対応に苦慮しているところです。これからも徹底的にムダを省き、限られた財源を必要なところに有効に使うために、市の事業が今の時代にマッチしているかどうか、また、民間の視点から見ればまだまだ削げるといえるところもあると思うので、そのようなところをどんどん指摘していただきたい。市としては、この委員会での委員の皆様からの意見を基にして、国の事業仕分けとは異なる、丸亀なりの地に足の着いたやり方で、生きた税金の使い方、必要な事業の選別をできるようにしたい。削るという作業は厳しいとは思いますが、思い切った意見を頂戴できればと思っておりますので、よろしくお願いたします。</p>

企画課長	<p>< 事務局職員紹介 ></p> <p>< 配布資料の確認 ></p> <p>【資料1】丸亀市の行政評価について</p> <p>【資料2】丸亀市行政評価委員会の運営について（案）</p> <p>【資料3】平成22年度の外部評価について</p> <p>以上、事前配布</p> <p>【資料4】平成22年度行政評価（事務事業評価）対象一覧 会議録イメージ 事務事業評価シート（様式） 外部評価対象事業選定シート 丸亀市総合計画冊子（本編、概要版「まるがめまちづくりガイド」）</p> <p>以上、当日配布</p> <p>それでは、議事に入ります前に本年度第1回目の行政評価委員会ということもありますので、丸亀市の行政評価の概要について、副課長から説明します。</p>
企画課副課長	<p>〔資料1により、丸亀市の行政評価について概要説明〕</p>
企画課長	<p>それでは、議事に移ります。</p> <p>まず、丸亀市行政評価実施要綱第9条第6項に基づきまして、本日の会議は6名の委員の方全員にご出席いただいておりますので、この会議が成立しておりますことをご報告させていただきます。</p> <p>では、議題（1）の委員長及び副委員長の選任ですが、初めての委員会ですので私の方から、各委員の紹介をさせていただきます。</p> <p>< 各委員の紹介 ></p> <p>それでは、委員長及び副委員長の選任についてですが、先ほど説明したとおり、丸亀市行政評価実施要綱第9条第3項により、委員の互選により定めることとされています。いかがいたしましょうか。ご意見はありませんか。</p>
各委員	<p>事務局の考えはありますか。</p>
企画課長	<p>事務局といたしましては、委員長には前回の行政評価委員会においても委員長をお願いしておりました香川大学大学院地域マネジメント研究科教授の田中豊委員を、また、副委員長には以前、本市の包括外部監査をお願いしておりました公認会計士の石川千晶委員を考えておりますが、いかがでしょうか。</p>

	<p><拍手により承認></p>
企画課長	<p>それでは、委員長は田中豊委員、副委員長は石川千晶委員に就任していただきます。それでは、一言ずつご挨拶をお願いします。</p>
	<p><委員長、副委員長あいさつ></p>
企画課長	<p>ありがとうございました。それでは、丸亀市行政評価実施要綱第9条第4項により、ここからの議事進行は委員長にお願いいたします。</p>
委員長	<p>みなさんよろしくをお願いします。それでは引き続き議事を進行していきます。次第の(2)丸亀市行政評価委員会の運営について、事務局に説明を求めます。</p>
企画課副課長	<p>〔資料2により、丸亀市行政評価委員会の運営について概要説明〕</p>
委員長	<p>ありがとうございました。ただいまの事務局の説明について、ご意見ご質問はございますか。</p>
橋委員	<p>今後の参考のために、これまでの行政評価委員会からどのような意見等が示されていないのか教えていただきたいのですが。</p>
企画課副課長	<p>これまでの行政評価は、総合計画全般にわたっての意見や提言をいただきました。それらを市長への報告書としてまとめておりますが、具体的にはかなりの分量となりますので、よろしければ、次回の会議で資料としてお渡しいたします。</p>
副委員長	<p>会議録の公開について、だれがどのような発言をしたかというところまで、公開されるのですか。</p>
企画課副課長	<p>先ほどご説明いたしました「会議録のイメージ」のように、委員のお名前と発言の要旨を公表することとなります。</p>
委員長	<p>ほかに意見はありませんか。それでは、委員会の運営については、事務局案のとおりといたします。</p>
委員長	<p>続きまして、次第の(3)平成22年度の外部評価について、事務局の説明を求めます。</p>

企画課副課長	〔資料3、事務事業評価シートにより、平成22年度の外部評価について概要説明〕
委員長	ありがとうございました。ただいまの件につきまして、ご意見ご質問がありましたらお願いします。
日野委員	評価区分には「廃止」や「統合」、「現状継続」など5項目しかないが、もっと推進した方が良いというような場合は、どのように記入するのですか。
企画課副課長	そのような場合、たとえば「現状継続」の所見欄に、推進の内容を記入していただくことで対応できればと考えています。
日野委員	今後、外部評価の日程については、案のとおりに進んでいきますか。
企画課副課長	ご説明申し上げた案は、9月上旬に市長へ報告することから逆算した概ねの日程です。委員会の進み具合にもよりますし、委員の皆様のご都合もあると思いますので、できる限りの調整はさせていただきます。
山崎委員	委員会として例えば数字的な目標はあるのですか。結果として、目に見える成果としての金銭的な成果も報告に入るようになりますか。
企画課副課長	これまで、意見や提言を戴くことを中心として進めておりましたが、今回はより踏み込んで、事業の効率性を重視した評価を行い、事業の方向性を明確に示していただきたいと考えています。この委員会では、現時点では特に目標金額等の設定をしておりませんが、結果として概算の削減額等を示すことは可能かと思います。
石川委員	金銭的なものであれ、何であれ、枠にはめられるようなことは、この委員会には馴染まないと思うのですが。
企画課副課長	こちらとしては、それぞれの事業の今のあり方が妥当かどうかという観点から評価をお願いしたいので、そこに当初から削減目標などを立てた形については、今のところ考えておりません。
山崎委員	事業についての詳細な資料が欲しくなった場合は、こちらの望む資料を追加で提供していただけますか。

企画課副課長	<p>当日の審議を深めるためにも、選定された事業について所管課が作成する資料のほかにも、提供して欲しい資料がありましたらご連絡いただければと思います。</p>
企画課長	<p>判断するための材料は、できる限り用意したいと考えているので、どんどん要求していただければと思います。</p>
橋委員	<p>この外部評価の結果によっては、予算や人員のウェートのかけ方を変えて対応しなければならない場合があると思いますが、そのあたりはどのように考えていますか。</p>
企画課副課長	<p>外部評価の結果については、全庁的に対応を協議しなければならないので、どの時点で予算に反映させるか等についても、その中で協議したいと考えています。</p>
企画財政部長	<p>予算については議会の承認が必要ですので、すぐにはいきませんが、外部評価の結果を得てからでも、年度はまだ半年残っていますので、場合によっては、補正等のしかるべき措置をとって、スピーディに対応していくことも大切であると考えています。また、今回の評価対象には運営に関する事項も含まれていますが、行政における経営感覚の欠如はよく指摘される場所です。委員の皆様には専門的な立場から、そのような行政に欠けている視点から様々な提言をいただければと思います。</p>
溝渕委員	<p>評価シートの人件費と事業費が別項目になっていますが、事業費に占める人件費を明らかなるなど、職員削減の方向性が明確に出ているのではないですか。昨年までの行政評価では、削減の方向であっても、事業の継続性であるとか、スキルの継承の必要性であるとか、単に削減するという話だけには留まらないところがあったと思います。そのような観点がなくなってしまうことについての懸念があるのですが。</p>
企画課副課長	<p>通常、市の予算でいうところの事業費とは、人件費を除いたものになります。今回は事業の効率性に重点を置いて評価しようとしていますので、より広く事業を捉える必要があると考え、人件費の項目を新たに追加しました。もちろん職員削減が前提にあるものではありません。</p>
企画財政部長	<p>削減ありきではなく、いろいろな意見があってよいと思います。ただ、職員も減ってきていますので、本当に必要なところに、人員・予算ともに配分していかなければなりません。そのあたりの選別をお願いします。</p>

山崎委員	単にコストカットだけを考えていたのでは、市の将来を考えた場合、あまり効果はないのではありませんか。それだけでは職員のモチベーションや能力向上にも関わると思います。この委員会の中で、市の事業として発展させていく部分と削減していく部分を選別するときに、この委員会としての目線をどこに置くかが大事になってくると思います。事務局としてはどう考えているのですか。
企画課副課長	この委員会にあたっての考え方の根本には、削減したものを、本当に必要なところに回して、サービスの転換を図るということです。また、今回、ヒアリングという形式を採用することにより、説明する職員側にとっても意識改革に繋がるよう期待しているところです。
日野委員	委員会のメインは削減ということで良いと思いますが、費用対効果だけで計れない事業もありますので、住みやすいまちということ考えた場合、そのような視点も大切にしなければならないのではないですか。
企画課副課長	報告の中では、選定された事業についての方向性を示すとともに、今の話のような、それ以外の意見についても、別途盛り込むことはできます。
委員長	対象とする事業についての方向性は必ず出した上で、委員各々が、その他の気になる事項をそれぞれ持ち寄って、報告書に反映させたいと思います。
石川委員	資料3のところで、例えば「評価の視点」の改善の項目に、今議論になっているような視点を取り入れることが可能なではありませんか。
企画課副課長	申し訳ないが、評価については5項目に区分し、そこに示す視点からすでに内部評価の方も進めていますので、そこを変えるのではなく、柔軟な方法として所見欄に記入するといったことをご理解いただきたいと思います。
委員長	これに関するご質問は以上でよろしいですか。それでは、これまでの議論を踏まえて、今後外部評価を進めていきたいと思います。続いて評価対象についての説明をお願いします。
企画課副課長	〔平成22年度行政評価(事務事業評価)対象一覧、外部評価対象事業選定シートにより、概要説明〕
委員長	ありがとうございます。本委員会で評価する事業を10事業程度に絞り込むということで、委員の皆さんが希望された事業の集計について説明がありました。この結果を基本としつつ、さらに特段の思い等から取り上げたい事業などがあ

	<p>りましたら、お願いします。</p>
<p>日野委員</p>	<p>事業の選定に際しては、削減できるかどうかの視点だけではなく、例えば、母子医療給付事業を選定したのは、父子医療はどうなっているのだろう、母子と同じに扱うべきではないか、というような思いから選定しました。</p>
<p>企画課副課長</p>	<p>よろしければ、その点については後日、資料提供したいと思います。</p>
<p>委員長</p>	<p>集計結果をみますと、希望の多い上位 10 事業については、委員半数以上の方が希望されており、また委員個々の希望もおおむね均等に反映されているようですので、集計結果を尊重して、この 10 事業を選定してよろしいですか。</p> <p>< 全員了解 ></p>
<p>委員長</p>	<p>本日、決められた議事については以上ですが、「その他」のところでも事務局から何かありますか。</p>
<p>企画課副課長</p>	<p>< 次回以降の会議日程について ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 第 3 回委員会：8 月 17 日（火）午後 ・ 第 4 回委員会：9 月 2 日（木）午前 <p>< 第 2 回委員会の事業ヒアリング資料について ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 本日決定した事業について、所管課で事業シート等を作成し、事前にヒアリング資料として配布。
<p>委員長</p>	<p>過去の経過を知っておくうえで、これまでの行政評価委員会の報告書については委員で共有しておきたいと思います。また、行政改革推進委員会のそれに類するものがあるのなら参考にしたいので提供していただきたいと思います。</p>
<p>企画課課長</p>	<p>行政改革推進委員会では「集中改革プラン」がありますので、プランとの関連も確認して資料提供します。</p>
<p>溝渕委員</p>	<p>昨年までの行政評価委員会で、報告書に盛り込んだ指摘などが、今どうなっているのか、所管課で善処していただいていると考えておいて良いのですか。</p>
<p>企画課副課長</p>	<p>先般、前回の行政評価委員の方々には、意見に対する「市の取組状況」について書面をもって報告させていただきました。可能なものについてはそれぞれの課において現在も取り組んでいるところですが、前回の報告書も合わせて資料として提供いたします。</p>

委員長	他に何かありますか。ないようですので、本日の議事についてはこれで終わります。
企画課長	最後に、企画財政部長からご挨拶を申し上げます。
企画財政部長	本市を取り巻く状況が未だ厳しい中で、今回の行政評価委員会については、これまでに市の行財政改革に携わっていただいた方や市の政策に精通されている方にご協力をお願いしました。事務事業を評価するとはいえ、国の事業仕分けとは違い、地方の場合はすべて市民に直接影響してくる事業を評価することになるので、慎重に進めなければならないと考えていますが、その中でも忌憚のないご意見ご提言をいただければと存じます。市としても合併後5年間いろいろと取り組んできましたが、まだまだ改善していかなければならないものや進めていかなければならないものがあると思いますので、いろいろと意見を頂戴して、改善に繋げていきたいと考えています。今回は、スケジュールも厳しいですが、どうぞよろしく申し上げます。本日はどうもありがとうございました。